

合宿記—2日目午前—

文学部3回生 仁方越洪輝

・杉並アニメーションミュージアム

さて、2日目はホテルで美味しく朝食をいただいた後、杉並アニメーションミュージアムへと出発です。ここは、ご存知ラーメン大好き小池さんのモデルとなった鈴木伸一さんが館長をされており、「日本のアニメ」について、その歴史や制作の過程などを知ることが出来ます。建物の3階からが展示スペースとなっています。3階へ上がってまず目に入るのが、中央の大きな柱。そこには有名なマンガ家やアニメーターのサインやイラストがずらり！藤子不二雄[Ⓐ]先生のものもドーン！！と書いてありました(笑)

「日本のアニメの歴史」年表や「アニメの原理」を説明するしかけなどを見た後、特別展示へ。内容は、「アニメ制作会社 スタジオゼロ展～トキワ荘マンガ家たちのアニメの仕事～」。藤子・F・不二雄先生や藤子不二雄[Ⓐ]先生などが集まって立ち上げたアニメーション企画・制作会社スタジオゼロの活動について、実際の資料などを基に紹介する展示でした。分担して絵を描くので、それぞれの個性が微妙ににじみ出ているという原画を見比べるのが楽しかったです。さらに、実際に制作された「パーマン」の映像もありました。バードマンが「スーパーマン」として登場する場面が流れていて、歴史を感じました。

そして、「アニメシアター」では、「動物アニメ特集」として、横山隆一『5万匹』という短編アニメ集から4本を上映していました。キツネたちに追われるブタや、沈みたいのに浮いてしまうカバなど個性的な動物たちのお話で、白黒映像だけでセリフはありませんが、くすっと笑えるようなコミカルさやシンプルな音楽などが印象に残る作品でした。

「これからのアニメ」についての考察など、真面目にアニメを紹介している施設ですが、アフレコやアニメ編集を体験できる面白い施設でした。「アニメライブラリー」には、アニメ関連の書籍がそろっており、もちろん原作となったマンガも豊富です。入場無料なのが嬉しくて、近くに住んでいたら通っていたかもしれません(笑)しかも、クイズに答えるだけで、スタジオゼロで実際に使われていた(形式の)タイムシートまでもらえたのも嬉しかったです！

スタジオゼロ時代の藤子不二雄両氏の活動を垣間見た後は、いよいよトキワ荘へと向かいます。その前にまずは腹ごしらえ……(笑)